



防災のすすめ

西支部 常置委員 榎 大

普段生活している中で、自分に地震による災難が降りかかってくるなど、全く頭にありませんが、体に感じない地震は日本各地で毎日のように起きています。

ここ数年世界でも大きな地震が頻発しており、2008年5月12日 中国四川省大地震、2010年2月27日 チリ大地震（日本に津波到達）、2010年4月14日 中国青海省地震などは皆さんの記憶にも残っているのではないのでしょうか？

徳島市での大きな地震は1995年の阪神淡路大震災時の震度4、以来記憶にありませんが、徳島県は海溝型地震の南海地震が発生すると甚大な影響を受け、また活断層である中央構造線の真上に位置する以上、直下型地震にも深く影響を受けることは明白です。

東海地震は30年以内に発生する確率が87%と予測されており、東海地震が発生すればそれに連動して東南海、南海地震が発生する確率も高くなります。徳島では震度6弱の地震が30年以内に発生する確率は61.2%と予測されており、1995年の阪神淡路大震災を引き起こした野島断層による地震発生確率は30年以内で8%と予測されていたことを考えると、相当高い確率と考えることができます。

先日、家族4人で北島町にある徳島県立防災センターに行ってきました。そこで防災体験ツアーに参加したのですが、ツアー参加者は4人のみで貸しきり状態でした。そこで一番印象に残ったのは地震体験コーナーでの震度7の体験でした。まるでジェットコースターに乗っているようで、為すすべ何もなし、という感じでした。体験されたことのない方は、是非一度体験されてはいかがでしょうか？

地震を防ぐことはできませんが、防災対策はできます。

総務省消防庁のホームページによると・・・

「非常持ち出し袋には、最低これだけは必要です。

印かん、現金、救急箱、貯金通帳、懐中電灯、ライター、缶切り、ロウソク、ナイフ、衣類、手袋、ほ乳びん、インスタントラーメン、毛布、FM 文字多重放送受信機能付ラジオ、食品、ヘルメット、防災ずきん、電池、水」・・・だそうです。

以前購入した非常用持ち出し袋に、中身を自分で詰め込んだものをチェックしてみると、消費期限 2005 年 9 月 16 日のミネラルウォーター、新品パックのまま 10 本中 5 本液漏れを起こした乾電池、使用期限 2005 年の使い捨てカイロ、今はもう必要ない子供用紙おむつなど、非常時には役に立たなくなっているものが多数あり、一から準備しなおす必要がありました。

詳しくは下記のアドレスで「市民地震防災ページ」というホームページがありますのでご覧になってください。結構分かりやすく書いてくれています。

<http://aitech.ac.jp/~dprec/shimin/top.htm>

また災害時の連絡手段として災害伝言ダイヤル「171」というのがありますが、聞いたことはあっても使い方を知っている人は少ないのではないのでしょうか？

これについては下記のアドレスで

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>

「災害伝言ダイヤル（171）NTT 東日本」につながりますので、「絵で見る“171”」をご覧になっていただくと分かりやすく説明してくれています。

以上長々となってしまいましたが、これらの準備が使われないですむことを期待する次第です。

★——★——★——★——★——★——★——★——★——★——